

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例」の出題の趣旨

第1問（配点 40 点）

（設問 1）

本問は、D社の経営計画が抱えている問題点を的確に指摘できる能力を確認するために、自ら適切な経営指標を選択し、その名称および算出方法が正しく理解されているか、さらに問題点を論理的に表現できるかを問うものである。

（設問 2）

本問は、（設問 1）で抽出された3つの問題点の背後には共通の原因があることを発見して、これを解決するための改善案を創出する能力を問うものである。

第2問（配点 15 点）

（設問 1）

情報ネットワークシステムについて、中小企業にとってはよりコストパフォーマンスのよいシステムが望まれるところであるが、本問は、D社の情報ネットワーク環境を理解したうえで、費用面で適切な方式を選択できるかどうかの能力を問うものである。

（設問 2）

本問は、（設問 1）で解答した情報ネットワークシステムに対応したセキュリティシステムを整理して提案できる能力を問うものである。

第3問（配点 30 点）

（設問 1）

本問は、企業価値算出の準備段階としての営業キャッシュフローおよびフリーキャッシュフローの計算知識能力を問うものである。

（設問 2）

本問は、フリーキャッシュフローを用いた企業価値算出の方法を十分理解しているかについて問うものである。

（設問 3）

本問は、フリーキャッシュフロー以外に買収時に用いられる企業価値の算出方法を問うことにより、この分野に関する知識の幅広さを問うものである。

第4問（配点 15 点）

（設問 1）

本問は、ある一つの事業展開のシナリオにおけるネットキャッシュフローの期待値を算出する能力を問うことにより、この不確実性下の意思決定の検討における基礎知識を問うものである。

（設問 2）

本問は、意思決定時の柔軟性を検討するために、D社における状況として考えられるすべてのシナリオのネットキャッシュフローの期待値を検討して、最適な意思決定を導き出す能力を問うものである。

以上